

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2010-73108(P2010-73108A)

【公開日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-013

【出願番号】特願2008-242465(P2008-242465)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 5 1 0 B

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月16日(2011.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像から顔画像を認識する顔画像認識手段と、認識した前記顔画像の特徴を抽出する特徴抽出手段と、抽出した前記顔画像の特徴情報を記憶する特徴情報記憶手段と、を有する画像処理装置において、

前記特徴情報に対応して前記特徴情報記憶手段に記憶される特徴情報 ID を生成する ID 生成手段を備え、

前記特徴情報 ID には、該画像処理装置の固有番号を示す情報が含まれることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

取得した画像における顔画像から前記特徴抽出手段により抽出された特徴情報と、前記特徴情報記憶手段に既に記憶されている特徴情報とが、同一の顔に対する特徴情報であるか判定する判定手段と、

前記判定手段により同一の顔に対する特徴情報であると判定された場合に、前記特徴情報記憶手段に既に記憶されている特徴情報に対応する特徴情報 ID をメタ情報として、前記取得した画像に付与して記憶する記憶手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記記憶手段は、前記取得した画像における顔画像の位置情報を、前記取得した画像に付与して記憶することを特徴とする請求項 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記特徴情報 ID には、前記画像処理装置の個別の型名を示す情報が含まれることを特徴とする請求項 2 または 3 記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記特徴情報 I D は、個人名の情報と関連付けられることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

外部装置から特徴情報を取得する取得手段を有し、

前記特徴情報記憶手段は、前記取得手段にて取得された前記特徴情報を記憶することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記取得手段は、前記外部装置から前記特徴情報とこれに対応する特徴情報 I D を取得し、

前記特徴情報記憶手段は、前記取得手段にて取得された前記特徴情報と前記特徴情報 I D を記憶することを特徴とする請求項 6 記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記取得手段は、前記外部装置から前記特徴情報と該特徴情報が抽出された画像を取得し、

前記特徴情報記憶手段は、前記取得手段にて取得された前記特徴情報を記憶し、

前記記憶手段は、前記取得手段にて取得された前記画像を記憶することを特徴とする請求項 6 または 7 記載の画像処理装置。

【請求項 9】

外部装置から特徴情報と該特徴情報が抽出された画像を取得する取得手段を有し、

前記記憶手段は、前記取得手段にて取得された前記画像を記憶し、

前記判定手段は、前記取得手段にて取得された特徴情報と、前記特徴情報記憶手段に既に記憶されている特徴情報とが、同一の顔に対する特徴情報であるか判定し、

前記特徴情報記憶手段は、前記判定手段により同一の顔に対する特徴情報であると判定されなかった場合にのみ、前記取得手段にて取得された特徴情報を記憶することを特徴とする請求項 2 記載の画像処理装置。

【請求項 10】

画像から顔画像を認識する顔画像認識工程と、認識した前記顔画像の特徴を抽出する特徴抽出工程と、抽出した前記顔画像の特徴情報を特徴情報記憶手段に記憶する特徴情報記憶工程と、を実行する画像処理装置における画像処理方法において、

前記特徴情報に対応して前記特徴情報記憶手段に記憶される特徴情報 I D を生成する I D 生成工程を備え、

前記特徴情報 I D には、該画像処理装置の固有番号を示す情報が含まれることを特徴とする画像処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の画像処理装置は、画像から顔画像を認識する顔画像認識手段と、認識した前記顔画像の特徴を抽出する特徴抽出手段と、抽出した前記顔画像の特徴情報を記憶する特徴情報記憶手段と、を有する画像処理装置において、前記特徴情報に対応して前記特徴情報記憶手段に記憶される特徴情報 I D を生成する I D 生成手段を備え、前記特徴情報 I D には、該画像処理装置の固有番号を示す情報が含まれることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 2 】

また、請求項 1 0 に記載の画像処理方法は、画像から顔画像を認識する顔画像認識工程と、認識した前記顔画像の特徴を抽出する特徴抽出工程と、抽出した前記顔画像の特徴情報を特徴情報記憶手段に記憶する特徴情報記憶工程と、を実行する画像処理装置における画像処理方法において、前記特徴情報に対応して前記特徴情報記憶手段に記憶される特徴情報 I D を生成する I D 生成工程を備え、前記特徴情報 I D には、該画像処理装置の固有番号を示す情報が含まれることを特徴とする。